

市町村名	北中城村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	アワセゴルフ場周辺街づくり整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	建設課	事業実施 年度	平成 27	令和 1	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	アワセゴルフ場跡地を中心に、返還予定のロウワープラザ地区やその周辺一帯が村の観光交流拠点としてまちづくりが行えるよう検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		27年度	28年度	29年度	30年度	合計	
	A. 予算現額	10,000	10,000	8,468	5,055	33,523	
	B. 執行済額	9,828	9,931	7,943	4,764	32,466	
	うち 交付金充当額	7,862	7,944	6,354	3,811	25,971	
	執行率%(B/A)	98.3%	99.3%	93.8%	94.2%	96.8%	
執行状況の説明	・最終的な執行率は96.8%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
	アワセゴルフ場周辺まちづくり勉強会の実施	目標	2回	2回	2回		
		実績	2回	2回	2回		
	駐車場最適について検討	目標	影響調査の実施	影響調査の実施	最適地の検討		
		実績	影響調査の実施	影響調査の実施	最適地の検討実施		
基本構想の検討	目標				基本構想の検討		
	実績				基本構想の検討		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
	駐車場最適地について絞り込み、整備手法について作成する。	目標	課題の把握	将来構想図の整理	整備手法の作成		
		実績	課題の把握	将来構想図の整理完了	整備手法の作成完了		
	基本構想の策定	目標				基本構想の策定	
		実績				基本構想の策定	
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		2年度	3年度	4年度	5年度	2年度 目標/発現年度	
	策定する基本計画において成果を設定する。		目標	-	-	-	-	成果設定
			実績	-	-	-	-	-
			目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	
状況説明		【R1年度】 ・当初、令和1年度において、基本計画を策定する予定だったが、本村の予算編成上の制限により、中断している状況である。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R1年度】 ・アワセ周辺の幹線道路では、時間帯によって交通渋滞の発生により渋滞を回避するために、集落内における狭隘な道路部への通過交通が発生し、周辺地域の円滑な土地利用に課題がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R1年度】 ・アワセ周辺地域の屋宜原地区(市街化調整区域)において、集落内での道路拡幅等の改善策や渋滞緩和となる二次幹線道路等を検討するため、関係機関と今後の市街化編入、地区計画の導入について意見交換を実施し、課題解決に取り組む必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R1年度】 ・アワセ周辺地域の屋宜原地区において地域の住宅環境や道路状況を改善を図る目的として、市街化調整区域における地区計画の導入を検討するため、沖縄県や関係市町村等と意見交換を行い連携強化に取り組む。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・								

市町村名		北中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開	
担当部課名	企画振興課	事業実施 年度	平成 24	~	令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	「平成の名水百選」に選ばれた荻道・大城湧水群を新たな観光資源としての活用を図るため、水質の調査や湧水群周辺整備を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~27年度	28年度	29年度	30年度	合計	
	A. 予算現額	48,392	16,309	35,930	16,362	116,993	
	B. 執行済額	42,513	16,308	35,757	14,826	109,404	
	うち 交付金充当額	34,009	13,046	28,605	11,860	87,520	
	執行率(%) (B/A)	87.9%	100.0%	99.5%	90.6%	93.5%	
執行状況の説明	・最終的な執行率は93.5%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	雨水浸透施設モデル住宅モニタリングの実施	目標	湧水保全地区の 湧水浸透方法の 検討	公共:1件 住宅:5件	公共:1件 住宅:4件	公共:1件 住宅:4件	-
		実績	湧水保全地区 の実施設設計の 検討	公共:0件 住宅:4件	公共:1件 住宅:4件	公共:1件 住宅:4件	-
	観光・健康散策路整備基本設計・実施設計の 検討	目標	-	-	基本計画の 見直し検討	基本設計の 検討	実施設計の 検討
		実績	-	-	基本計画の 見直し検討	基本設計の 検討	実施設計の 検討
	大城イリスカー改修工事の実施	目標	-	補修工法検 討調査	改修実施設 計の策定	改修工事の 実施	-
		実績	-	補修工法検 討調査の実 施	改修実施設 計の策定	改修工事の 実施	-
	湧水再生に向けた調査・検討	目標	-	-	-	-	調査・検討
		実績	-	-	-	-	調査・検討
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	観光・健康散策路整備基本設計・実施設計の 策定	目標	-	-	基本計画の 見直し	基本設計の 策定	実施設計の 策定
		実績	-	-	基本計画の 見直し完了	基本設計の 策定	実施設計の 策定
	大城イリスカー改修工事の完了	目標	-	補修工法の 決定	実施設計の 策定	工事の完了	-
		実績	-	基本設計の 策定	実施設計の 策定	工事の完了	-
	湧水再生に向けた調査検討完了	目標	-	-	-	-	調査検討 完了
実績		-	-	-	-	調査検討 完了	

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		4年度	5年度	6年度	7年度	4年度 目標/発現年度	
	散策路整備により満足度が向上したかを含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。		目標	-	-	-	-	80.0%
			実績	-	-	-	-	-
			目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	
状況説明	【令和1年度】 ・令和1年度に散策路整備工事を検討していたが、財政的課題により、事業を中断している状況である。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【令和1年度】 ・財政的課題により事業を実施できなかったことから、事業内容の見直しについて検討する必要がある。 ・令和1年11月より本村の観光周遊バスの運行が開始されたことにより、本散策路周辺の更なる利用促進が期待できる。			【令和1年度】 ・過年度までに策定した計画の中から、必要性の高い箇所を選定して事業を実施する必要がある。 ・観光周遊バスを利用し、中城城跡や中村家住宅を訪れる観光客に対して、本散策路の魅力を紹介する必要がある。					
【 年度】			【 年度】					
【 年度】			【 年度】					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【令和1年度】 ・散策路整備事業の中でも特に必要性が高い案内板等の設置について優先的に実施を検討する。 ・観光周遊バスに本散策路のパンフレットを設置することにより、周知強化を図る。								
【 年度】								
【 年度】								

市町村名		北中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	公共施設等エコアクション推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア 地球温暖化防止対策の推進	
担当部課名	建設課・生涯学習課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションの先駆けとして、省エネルギー化のため、村内街灯のLED化、太陽光発電システムの導入を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	150,552	16,076	33,038	3,834	203,500	
	B. 執行済額	117,526	15,660	32,999	3,834	170,019	
	うち 交付金充当額	94,020	12,528	26,499	3,067	136,114	
	執行率(%) (B/A)	78.1%	97.4%	99.9%	100.0%	83.5%	
執行状況の説明	<p>・H24年度には、太陽光発電システムの設計に際し、荷重量や耐風圧などの設計に不測の日数を要したこと、またLED設置工事においても資材不足により工事が遅れ、翌年度に繰り越した。</p> <p>・H26年度には、太陽光発電システムの再生可能エネルギーの接続について沖縄電力との調整に不測の日数を要したことから翌年度に繰り越した。</p> <p>・最終的に執行率が83.5%となり概ね計画通りに事業が執行できた。</p>						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	再生可能エネルギー導入年次計画検討	目標	再生可能エネルギー導入年次計画検討	-	-	-	-
		実績	再生可能エネルギー導入年次計画検討	-	-	-	-
	太陽光発電システム設置及び一般家庭向け太陽光導入補助金の検討	目標	一般家庭向け太陽光導入補助金の検討	-	-	検討	-
		実績	一般家庭向け太陽光導入補助金の検討	-	-	検討の実施	-
	公共施設等太陽光発電設備設置	目標	太陽光発電設備設置	-	-	-	-
		実績	太陽光発電設備設置	-	-	-	-
	自治会単位でのエコ活動の普及	目標	-	エコ活動の普及	-	-	-
		実績	-	エコ活動の普及	-	-	-
	LED街灯設置	目標	LED街灯設置	6箇所	4箇所	-	-
		実績	LED街灯設置	5箇所	4箇所	-	-
既存街灯をLEDへ取り替え	目標	-	741箇所	328箇所	切替実施	切替実施	
	実績	-	350箇所	328箇所	切替えの実施	切替えの実施	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	エコアクションプログラム策定の完了	目標	エコアクションプログラムの策定の完了	-	-	-	-
		実績	エコアクションプログラムの策定の完了	-	-	-	-
	太陽光発電システム設置	目標	1箇所	-	-	1箇所	-
		実績	1箇所	-	-	1箇所	-
	LED街灯設置	目標	5本	5自治会	4箇所	-	-
		実績	5本	13自治会	4箇所	-	-
既設街灯のLED照明化	目標	-	741箇所	328箇所	20基	14基	
	実績	-	350箇所	328箇所	20基	14基	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R1年度 目標/発現年度
	既存街灯14基のLED化によるCO2排出量削減量		目標	-	-	-	5.9t-co2
			実績	-	-	-	5.9t-co2
			目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	
状況説明		<p>【R1年度】 ・既存街灯14基のLED化によるCO2排出量については、令和1年度において街灯の故障等もなかったことから、5.9t-CO2の削減量となり、達成状況は順調である。</p> <p>【R1年度】 ・太陽光発電システムについては、設置した公共施設において常時利用されており、概ね順調である。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・既存街灯のLED化については、過年度までに、予定していた箇所の街灯すべてを取り替えることができたことで、CO2削減の効果が期待できる。</p> <p>【R1年度】 ・太陽光発電システムの設置により、Co2削減の効果に加え、災害時における非常電力としての活用促進が期待できる。</p>			<p>【R1年度】 ・街灯のLED化による環境の影響(CO2削減の効果等)について、村民へ広く周知することで、エコアクションの推進を図る必要がある。</p> <p>【R1年度】 ・太陽光発電システム設置の導入による効果等を地域住民に対し周知することで、エコアクションの推進及び災害時の機能強化を図る必要がある。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 ・既存街灯のLED化によるCO2削減効果について、村HP等により周知し、エコ推進に取り組む。</p> <p>【R1年度】 ・太陽光発電システムを導入した自治会の住民に対し、常時、Co2削減効果を情報発信できる場を設置し、周知強化に取り組む。加えて、蓄電池を導入した自治会においては、災害時に活用できるよう防災訓練等での活用を促進する。</p>							

市町村名		北中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	防災体制整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと 防災体制の強化		
担当部課名	総務課	事業実施 年度	平成 30	~ 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	住民や観光客を想定した備蓄食料、生活物資、防災用品の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		30年度	1年度	2年度	3年度	合計	
	A. 予算現額	2,024				2,024	
	B. 執行済額	1,983				1,983	
	うち 交付金充当額	1,586				1,586	
	執行率(%) (B/A)	98.0%				98.0%	
執行状況の説明	・最終的な執行率は98%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
	備蓄食料の整備	目標	1,900食				
		実績	2,000食				
	防災用品の整備	目標	整備				
		実績	整備				
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
	H30 備蓄食料の整備率	目標	25%				
		実績	26%				
	H30 防災用品整備	目標	防災用品整備完了				
		実績	防災用品整備完了				
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	1年度	2年度	3年度	4年度	1年度 目標/発現年度	
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
整備した備蓄品等を活用した防災訓練(3回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	3回	-	-	-	3回
	実績	3回	-	-	-	3回
	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-
事業完了後の成果目標	状況説明	【R1年度】 ・整備した備蓄品等を活用した防災訓練はR1年度に3回実施したため、達成状況は順調である。				
		【 年度】				
		【 年度】				
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R1年度】 ・防災訓練の実施により、被災者支援に必要な備蓄品について、本事業で購入した備蓄品の種類、規格等で概ね問題なく支援の実施ができることが確認できたものの、新型コロナウイルスなどの感染症等に対応した避難体制の整備が求められる。			【R1年度】 ・感染症に対応した備蓄品の購入など、様々な災害を想定した備蓄品の整備が必要である。			
【 年度】			【 年度】			
【 年度】			【 年度】			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R1年度】 ・引き続き、災害時に要する備蓄品等を活用した防災訓練を定期的実施することで、住民や観光客への支援体制の構築に取り組む。 ・新型コロナウイルスなどの様々な感染症に対応した災害備蓄品等の導入を検討する。						
【 年度】						
【 年度】						

市町村名		北中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	北中城村地域防災計画等策定事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと 防災体制の強化	
担当部課名	総務課	事業実施 年度	平成 30	~ 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	沖縄県で想定されるあらゆる災害に対応し、地域住民や村を訪れる観光客等を災害から守る体制を構築できるよう、現行の地域防災計画の見直しを行う。また、津波災害警戒区域や土砂災害ハザードマップを加えた防災マップを作成し、危険箇所や避難場所、避難経路などを観光客及び住民へ周知する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		30年度	1年度	2年度	3年度	合計	
	A. 予算現額	22,775				22,775	
	B. 執行済額	22,084				22,084	
	うち 交付金充当額	17,667				17,667	
	執行率(%) (B/A)	97.0%				97.0%	
執行状況の説明	・最終的な執行率は97%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
	北中城村地域防災計画の策定	目標	北中城村地域 防災計画の策定				
		実績	北中城村地域 防災計画の策定				
	防災マップの作成	目標	防災マップの 作成				
		実績	防災マップの 作成				
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
	地域防災計画の作成完了	目標	作成完了				
		実績	作成完了				
	避難勧告マニュアルの作成完了	目標	作成完了				
		実績	作成完了				
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		1年度	2年度	3年度	4年度	1年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	策定した地域防災計画を活用した防災訓練の実施	目標	3回	-	-	-	3回
		実績	3回	-	-	-	3回
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
状況説明	【R1年度】 ・地域防災計画を活用した防災訓練をR1年度に3回実施したため、達成状況は順調である。						
	【 年度】						
	【 年度】						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・防災訓練の実施により、参加した住民への防災に対する関心度を向上させることができ、災害時において、策定したマニュアルに沿った円滑な対応が期待できる。			【R1年度】 ・参加していない住民等にも広く周知する必要があるため、様々な媒体を通してマニュアル等の周知を図り、防災意識の向上に努める必要がある。				
【 年度】			【 年度】				
【 年度】			【 年度】				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・引き続き、定期的に防災訓練を実施することで、災害への危機意識の向上を図るとともに、村HPに公表し、観光客や住民等への周知を行う。							
【 年度】							
【 年度】							